

教 科	地歴	科 目	世界史A	単位数	2 単位
学 科	全学科	学 年	3 年	コース	
学習目標	世界史Aでは、世界の歴史の大きな流れについて近現代を中心に学ぶ。そして、その流れを理解し、どのような力が歴史を動かしてきたのかをつかみ、単に過去の出来事を学ぶだけではなく、現代の世界がなぜそうなっているかを考える力を身に付ける。				
	学習項目			評価規準【評価の観点】	
	1 部 1 章 前近代の諸文明 序節 人類の始まり 1 節 東アジアの文明 2 節 南アジアの文明 3 節 東南アジアの文明 4 節 イスラームの文明 5 節 ヨーロッパの文明 6 節 南北アメリカの文明 2 章 一体化に向かう世界 1 節 繁栄するアジア 2 節 大航海時代と新たな国家の形成 3 章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 1 節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 2 節 自由主義・ナショナリズムの進展 2 部 1 章 現代社会の芽生えと世界大戦 1 節 現在につながる社会の形成 2 節 第一次世界大戦がもたらしたもの 3 節 “民族自決”を求めて 4 節 経済危機から第二次世界大戦へ 2 章 冷戦から地球社会へ 1 節 冷たい戦争の時代 2 節 冷戦終結への道のり 3 節 地球社会への歩み 4 節 持続可能な社会へ			・人類の発生・進化の過程や農耕・牧畜による食料生産革命、文明の成立など人類史について概観することができる。【A・B・D】 ・世界各地域の風土と生活、言語・文字・思想などの視点を通して、各地の世界像を把握することができる。【A・B・C】 ・イスラーム圏や中国文化圏の豊かさと繁栄を理解できる。【A・C・D】 ・ヨーロッパ人の海外進出などを中心に、16世紀の世界の一体化への動きを捉えることができる。【A・B・D】 ・アメリカ独立革命、フランス革命、産業革命及び自由主義の進展の背景とその流れを理解できる。【A・C・D】 ・工業化と国民統合の過程を理解できる。【A・D】 ・第一次世界大戦とロシア革命について、大戦の勃発に至る経緯、総力戦としての性格、ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響、戦争と革命による国際秩序の変化に触れ、両者が20世紀の大変動の起点となったことを把握できる。【A・C・D】 ・独立運動の影響や東アジア諸国が日本に対して持つ感情、その対応について理解できる。【A・B・C・D】 ・世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、新たな国際対立を生み出したことを理解できる。【A・B・D】 ・第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立を理解できる。【A・B・C】 ・1970年代の世界の動向を扱い地球規模での相互依存が強まったことを理解できる。【A・B・C・D】	
評価の観点	【A】関心・意欲・態度【B】思考・判断【C】資料活用 of 技能・表現【D】知識・理解				
評価方法	定期考査、出席状況、課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	明解 世界史A (帝国書院)				
備 考					

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。